

# 高天神に立つたくましい子

教育目標 城東を愛し、未来をたくましく生き抜く子ども

令和2年度 夏休み号

「高天神のおひざ元」

掛川市立土方小学校

コロナ禍で先が見通せない中での学校生活ですが、学校再開後から今日まで子供たちの元気な明るい声と笑顔に励まされ、教育活動を進めてきました。この子供たちの笑顔が途切れることのないよう、願うばかりです。そして、今年度は例年と異なった短い夏休みを迎えます。御家庭におかれましては、今まで同様感染防止対策に努め、子供たちにとって有意義な夏休みとなりますよう、御協力よろしく申し上げます。

## この夏休みも「挑戦する子」

4月から57日間、子供たちは確実に成長してきました。それぞれの担任の先生にインタビューをして、子供たちの頑張りを教えてもらいました。紹介します。

1年生、子供たち同士で声を掛け合って「1分前着席」に取り組んでいます。授業の始まりと終わりのあいさつも、1,2,3のリズムでできるようになりました。そして、5時間目の授業にも元気に取り組んでいます。

2年生、生活科で育てている野菜の観察やトマトの水やりを毎朝欠かさずしてきました。たくさん野菜とトマトを収穫することができました。

3年生、進んで挨拶をしています。挨拶をしても相手が返してくれないときには、「どう言ったら返してくれるかな。」と考え、毎日工夫しながら挨拶をしています。子供たち自身が、挨拶のよさや大切さに気付くことができました。

4年生、「大丈夫だよ。」「どんなことでもいいんだよ。」「ヒント出そうか。」等、授業中自信がもてない子への声掛けが聞かれます。子供たちが安心して自分の考えを表現できています。そして、給食は「毎日残食0」。みんなで協力して食べる雰囲気できています。

5年生、自分の思いを表現することに挑戦しました。図工の「ワイヤーアート」、体育の表現運動「無人島探検」、総合学習の「案山子作り」などでは、友達と力を合わせたすばらしい頑張りがや豊かな表現力が発揮されました。

6年生、縦割り活動で「どのように進行すればいいのか。」と一生懸命考えて行動しています。「自分がやるんだ!」という強い気持ちを持ち、最上級生としての一步を踏み出すことができました。

子供たちは、学校生活の中で実にいろいろな挑戦をして頑張っています。

本校の夏休みの合言葉は「挑戦する子」です。夏休みの挑戦は、自分で決めたことを自分で考えて挑戦するということに価値があります。担任の先生に聞いてみると、子供たちは夏休みのワンチャレンジを決めているということでした。例えば、「毎日、玄関のくつを整頓する。」「本を3冊読む。」など、158人の子供たちがいれば158通りの挑戦があつてよいと思います。ちなみに、私のこの夏のワンチャレンジは、読書です。好きな作家の本を読みたいと思っています。短い夏休みですが、子供たちが「これができたよ。」と言える夏休みになることを期待しています。



(校長 兼子 美)